



望洋の郷からの眺めは最高

「十五年間の四季」



見知らぬ所、この串間に来て十五年の四季が今も毎日ゆるやかに過ぎていきます。あの日、この地に来なければならぬ用事があり一人羽田から宮崎空港に降り立ちました。教えてもらった通り油津行きバスに乗り、窓からのどかな景色を見ていました。坂の上に出たとき、「ファオー」目の前が海！後日あの坂は堀切峠と知りました。湾曲した海の横の車道をくねくねといくつもいくつも通り過ぎて行く油津までの間、日本にこんなに素晴らしい所があったのかと、海に見ほれ山に見ほれ遠くの船に見ほれていました。

私は今、金谷の「望洋の郷」というケアハウスの一室に入居しています。別に入居するつもりで来た訳ではないのですがそこでまた、私の心を「ギュー」と掴まれてしまったのです。この建物は小高い丘の上に有り、昔「秋月藩」の出城があったといわれる所にある三階建ての建物で三階がケアハウスになっています。私の部屋からテラスに出ると、前方に志布志湾が広がり、その先に大隅半島が横たわり、季節ごとに少しずつ左から右に移り変わる濃いオ

レンジ色の大きな夕日、夕日の沈んだ後の赤く染まった山並みと空、毎日違った景色を見せてくれるので見飽きるなどある訳がありません。また、虹つて遠いビルとビルとの間に半円形に出るものと思っていました。雨上がりのひとときに、目の前の湾から見事な大きな半円形に立ち登っているのも心を揺さぶられる瞬間です。

冬の寒い朝、薄い霧上のもやのような物が「もやもや」と海上に立ち登ります。名前があるのでしょうか私にはわかりません。「何て云うのかなあー」。広いガラスに囲まれた食堂からは福島大橋が見えて、下方に金谷の民家が立ち並び、右側上部先には串間市民病院などが広範囲に見わたせます。8月の花火大会もおいしいお酒を飲みながらワイワイ楽しめます。

食いしん坊の私、この地に来て美味物にも出会いました。カサゴのから揚げ、キヒナ「のお刺身、キンカン、マンゴー。一人で一個食べられる贅沢もこの地ならではの。

でも良い事ばかりではありません。一番閉口しているのはマイカーが無いこと。日南線の本数も減って



星野 磨智子(84歳)

1934年3月18日生まれ。東京品川で美容院を営んでいましたが、70歳定年を決めてこの串間に移住。東京に子供3人、孫4人住。

現在、私は十年位前からボランティアとして視覚の不自由な方に「広報くしま」を音声にして伝える「カナリヤ会」に入れていただき、毎月十人以上の方と手分けして心をこめて1本のテープにして届けています。もし皆さまの近くにこのテープが役に立つ方がいらつしやいましたら、このようなテープがあることを知らせてあげてください。そろそろ「ひんだれて」きたのでこの辺で筆を置きます。

情報 アラカルト

串間で行われるイベントや
まちの話題まで、見逃せない
情報が満載です。

TOPIC

自治会長として地域貢献 神戸仁さんに総務大臣表彰



西今町自治会長として20年間の長きにわたり活動された神戸仁さんが「地縁による団体功労者総務大臣表彰」を受賞され、2月8日、表彰伝達式が行われました。15年以上の地域的な共同活動を通じて良好な地域社会の維持形成に顕著な功績があったことが認められたもので、本市では2人目の受賞となりました。

TOPIC

くしままちづくり協議会に 手づくり郷土賞



旧吉松家を中心とした大正口マンのまちづくりに取り組んでいる「くしままちづくり協議会」が国土交通省の手づくり郷土賞に選ばれ、2月13日に九州地方整備局の伊勢田敏局長から喜多会長に認定証が授与されました。郷土賞は地域づくりの優れた取り組みを表彰するもので、九州からは5件が選ばれました。

TOPIC

地域まるごと 支え合い推進シンポジウム



1月27日、住み慣れた地域で支え合いながら、安心して自分らしく暮らし続けられる串間の実現を目指すシンポジウムが市文化会館で開催されました。牧田総合病院地域ささえあいセンターの澤登久雄センター長の講演や、市内における地域での見守り活動の事例発表が行われ、約220人が認識を深めました。

TOPIC

県農産園芸特産物総合表彰 本市から2人が知事賞・特別賞

2月4日、宮崎市観光ホテルで米や野菜、お茶などの優秀な農家や団体の業績を称える県農産園芸特産物総合表彰式が開催されました。今回は、米(2部門)、野菜、花き、果樹、茶、葉たばこの計7部門で個人40人と3団体、2つの産地が知事賞を受賞しました。

本市からは、野菜部門でピーマン栽培の瀬治山悟さんが最高の優等、葉たばこ部門で川崎博樹さんが1等に輝き、知事表彰を受けました。

また、特別賞として瀬治山さんが「農林水産大臣賞」と「宮崎健康経済農業協同組合連合会代表理事会長賞」を受賞され、川崎さんにつきましても「農林水産省生産局長賞」を受賞されました。



野菜部門 瀬治山悟さん(前列一番右)



葉たばこ部門 川崎博樹さん(後列一番左)